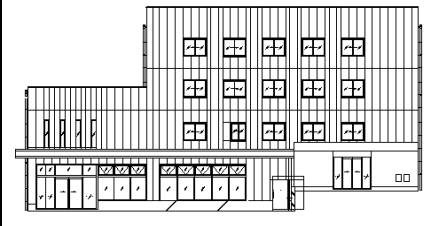


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 渋谷区相模原市南区上鶴間本町4丁目計画 新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県相模原市南区上鶴間本町4丁目2419-1他	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	75人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年11月8日
敷地面積	2,626㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社流通一級建築士事務所
建築面積	1,060㎡	確認日	2017年11月8日
延床面積	3,068㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社流通一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
本物件は町田駅裏の住宅街に位置し、1階が貸店舗、2階～4階がサービス付き高齢者住宅という構成の複合施設である。起伏のある地形を活かした店舗とサ高住とのアプローチに配慮し、敷地の道路境界沿いは可能な限り緑化することで周辺環境に寄与している。設備機器は高効率な仕様を採用し、省エネルギー対応によって環境に配慮した設計としている。		
Q1 室内環境 内装材は告示対象外・F☆☆☆☆を全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。	LR2 資源・マテリアル 躯体材料以外におけるリサイクル資材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 光害チェックリストの過半を満たすなど光害の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される